

●新開張
會館一樓門牌三十一號
●廣告費
▲五元帶三十元半站一
行字四半站一行全四
十五錢

の新政なる者は根本的に多數國民の誤解を
 の所となり嫌惡する不調となり引て日韓の關
 係とて次第に擴大の端に陥入せしむ
 人の恐怖は此に在り統火の交換、屠殺の競争
 是の如き小規模は何れの國の時代様にも普
 通の事態なれども吾政策に對する民心の不
 信不平之れを發するに非らずんば兩國の經營
 間に、彼は雲陽宮に入りて重ねて莊嚴大
 彼は雲陽宮の一粒兒である、老雄の愛孫
 である、王爺よりして謀叛人視せられたる、
 物であつた、然れども時勢の回轉は前帝
 に宮廷の全部が自ら其責を負ふべく、今
 疾風の如くに慶運宮を動搖せしめつゝあ
 間に、彼は雲陽宮に入りて重ねて莊嚴大

雲崎官の再興(上)

近世の半島王國史より雲崎官を取除くべしと云ふは、極めて素樸たる黨争史のみである。前帝位を即てより四十年間に於て幾度の外侮に對する政變を數へるが、皆是雲崎官の日記の事項である、恐らく世界に於て韓國の近世史はと激烈なる政變を以て滿たされたもの

▲百九十一圓半に於ける流通高は二
▲正金銀行券一月に於ける流通高は二
五十三萬千六百七十六圓にして六月には
百九十五萬七千七百九十二圓となれり元
軍用手票が漸次回収せられて流通高を成
るに從ひ之が補充充たる銀行券は漸次其
流通高を増すべき筈なるに事實其反對の現

す
案
より十年に至る間に、人影寂寥、英雄の末路は荒廢の家に俱に行人の悔辱を受けてゐる、兎んや其の孫李俊銘氏は日本留學中、謀殺罪人として何等の待遇を得ず、其次孫李攻銘氏は老祖父の跡を追つて幽冥に行き、將に一家の全滅を見んとして僅かに婦人を救ふに、

三月十五日には百四圓臺となり、尙して二十二日には百四圓二十五圓となり、下つて四月十八日には九十九圓臺となり、又百圓臺に昇るに至れり、但し、手票の支那人間に於ける取引の相場は、大回收せられて流通額を減ずると共に、人の愛、販、甚しき爲り普州爲替相場場の人の愛、販、甚しき爲り普州爲替相場場の

成を
 るであらうと想像されし雪姫宮の一粒兒た
 入に對する通寶の割合四月には九分五

の僅たのである
 而も時勢の回轉は案外に迅速
 である、恐らく一生東海を蹈む眷連とな

仕拂、通寶九千圓、銀票四萬三千圓を
 南滿洲鐵道會社の收入金種に於ては

困縁こんげんです。それが實に事情じけいがあるのですよ。から一度れ目に懸つて、それで來て貰つたやう冷たくなつた杯さかづきの

因縁です。それが實に事情があるのですよ。それから一度裸目に懸つて、それで來て貰つたやうな冷たくなつた杯の

のも厭はないで軒下のうしたに
 と、語物は安達三で
 旨し、撥の音も牙はて
 思はれたが、何しろ身
 したので、無雷になつ
 だが突如に大きな響で
 ると、バツタリ太極の
 て居つた聲も倒つてし

立つて開物れて居ゐ私わたし
 咽も宜ければ節過ふは
 聲は若干しいやう
 かに沁むは面おもて白く
 て聞いて居るこゝ
 怒鳴り付る聲が聞
 ぬ音も留まれば、語
 つたので、呼々殘のこら
 づかにせめて

やうに思はれた……。青年が此處まで語つた事、僕等思ひ當つた事、あらッ、では彼の晩に、呆れたやうに云つて、飛んだ事を聞かれま

「賣所が……」
てバツと顔かほを染よめて
したのね。」



時の語では、現今のれ父さんと云ふの父さんで、清ちやんの實の兩親は亡くへなかつた。それを聞くど私は一層同情へなかつた。と云ふのは私が清ちやんじやうに、兩親は私が幼少な時に亡くへて、今では父の弟に當る叔父の世話にて學校に通つてゐるんだ。

で、彼の時清ちやんの養父さんが、其になつて寄席にも一つ能う出んやうが、其地になつて寄席にも、昔でも溢つて死んだ、と口汚なく怒つて居られたから、

は然う思ふた。何程酒に酔つて居るにも、随分鬱鬱な事を云ふ人だ。嬢嬢さ。口惜しいだらう、實に可哀相だ。けれども、養父さんの言ふのも一理あると思ふな。程の程の酒を持つて居ながら、なぜ寄席の人のだらうか、若も此人が寄席にでもうものなら、必然大層な人気を取るで、實に惜いもんだ、今日が日までの間に、實に。しるる、しるる、此の

「さういふ夢に思はなかつた。」

「今更のやう其顔を誤める。」

人力車
營業
京 城 組
電話九四二番
丁稚入用
但十才以上十五才迄

京坂本町一丁目郵便局前
若林支店
(電話一四七番)
開店廣告
池町三丁目
吉着南本店

同 南支店

龍山老松町(十字病院隣)

廣 告

牛 肉 すき 焼

かしわ

電話 貳貳八番
開通

本店 仁川理事廳通(電話三三番)

支店 京城南山町(電話一〇七番)
南山町一丁目
(植村病院前)

貸席 待合
未乃花
客室は清潔にして丁寧なるは本店の特色に御座候

藥劑師正六位
 龍山櫻町
 川瀬一五
 商號 開善堂

營業科目
處方調劑 藥品 賣藥 衛生
料品其他種々

銀行 一般業務 御便利に取扱申候
積立及繰越金 七拾貳萬圓
東京 大門口通電話四二〇

支店 出張所 長崎市藥町

韓國 釜仁京 州山川、龍浦、山、元木、浦、山

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 利息日歩壹圓四厘

株主 株式會社

十八銀行 支店

長崎貯蓄銀行代理店

十八銀行 支店

直輸入荷着
新 荷 着
浪板主
廉價大販賣
秋田商會鐵物部
電話一六番

セメント特約販賣
仁川港本町通り

建築及土工用具
並小金物類一式
取揃申候間御用命被仰付度候

井
に
賣 販 托 委

東京合資
會社
百六十七番
濱千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
山登臺鹽合資會社食鹽特約店

西洋御料理宴會
日本人俱樂部

意隨院入
院醫城京
目丁一町壽城京
番二四七話電

大坂商船會社
出帆廣告

龍山老松町
花柳病及
眼科專門
十字病院
院主 醫科大學
撰科得業 望月憲麿


工學博士
藥學博士
高峰謙吉氏發見

胃腸
針劑
新藥

タカザスターゼ

仁川倉知商會

電話二三番

切實所資		仁川稅關渡止場出帆場所 支店	電話二二三〇
安登丸	能登丸	京城本町通、角榮町五番地 電報掛六五〇 電話四〇二番	
關門、神戶大坂行	大連、門司、橫濱行	十一月廿四日午前十時出	
勝山、宇品、神戸大坂行		十一月廿五日	
馬山、釜浦、釜山、關門、神戶、大連行		十一月廿八日午後一時出	
群山、九龍		十一月廿九日午後五時出	
群山、大浦、馬山、釜山、關門、神戶、大坂行		十二月三日午後五時出	
千賀丸		十二月三十一日午後五時出	
築後丸		十二月廿六日午後五時出	
駿南浦行		十二月廿四日午後一時出	
馬山、九龍		十二月廿五日午前十時出	
木浦、釜山、慶陽、鄭之浦、長崎行		十二月廿五日午前十時出	
信濃川丸		十二月廿五日午前十時出	
信濃川丸		十二月廿五日午後四時出	
木曾川丸		十二月廿五日午前十時出	
大連、門司、橫濱行		十二月廿五日午前十時出	
勝山丸		十二月廿五日午前十時出	
 日本郵船會社 汽船出帆廣告 貨物及船客取扱店			
仁川海岸通	郡回漕店	電話三九九	
京城南大門通	巴商會	電話三〇六	
釜山、釜山、關門、神戶行		十一月二十八日午後二時出	
群山、大浦、釜山、門司、神戶、大坂行		十二月六日午後三時出	
第一沙丸		十二月一日午後三時出	
大連、大沽行		十一月廿六日午後二時出	
高砂丸		十一月二十八日午後二時出	
大連、奉天、皇島行		十二月十七日未明出	
濟南浦行		十一月廿八日午後三時出	
第一沙丸		十二月二日午後一時出	
釜山出帆、元山、城津浦行		十二月十四日	
注意：迎來船ノ野へ吸煙禁止。本船注進船ニ付、吸煙可也。送還船ノ事、意船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事。			